



食で読み解く真庭の歴史

— 日常と飢饉・戦争 —



ヒルゼンバイカモのおひたし



こけら寿司

日時： **9月15日** (月・祝) 14時～16時

場所： 中央図書館 映像シアター

講師： **前原茂雄さん** (歴史学者・蒜山郷土博物館長)

真庭の人々は、豊かな自然資源を利用しながら、知恵と工夫に基づいた食生活を営んできました。しかし、度重なる飢饉や戦争は、その暮らしを一変させました。食をめぐる社会の変化や地域的特質を、文献資料の解読や現地での聞き取り調査を続けてきた、歴史学者で蒜山郷土博物館の前原さんに、丁寧に語っていただきます。

歴史学者。真庭市蒜山郷土博物館長。村落社会の諸相を解明するために、文献資料の解読とフィールドワークを重ねている。専門は日本中世史・村落史。真庭市蒜山ミュージアム館長、鳥取短期大学非常勤講師を兼務。主な著書に、中世村落を復元的に研究した『美作国布施社領の研究』『備後国大田庄故地調査報告書』、蒜山地域の伝統文化を研究した『蒜山・大宮踊の世界』『蒜山・郷原塗の世界』などがある。現在、山陽新聞及び真庭タイムス紙上にてコラムを連載中。



定員 30人 参加費 無料

申込方法 中央図書館へ来館、電話またはフォームでお申し込みください →

問い合わせ先 中央図書館 0867-44-2012



第3回

映画『水になった村』上映会&トーク



日時 **10月25日** (土) 13時～16時 場所 湯原図書館

講師 **大西暢夫さん** (写真家・映画監督)

山菜採り、トチ餅作り…ダムの底に沈む廃村に舞い戻ってきた老人たちが教えてくれた変わらない山の生活の工夫と知恵。監督の大西さんをお迎えし、豊かさとは何かをあらためて考えます。写真展も同時開催。

